

別記様式（第5条関係）

会 議 録

|              |   |
|--------------|---|
| 会議の名称        | 令和6年度第2回食育推進会議  |
| 開催日時         | 令和7年2月12日（水）<br>午前10時00分から<br>午前11時45分まで  |
| 開催場所         | 福津市役所 本館大会議室  |
| 委員名          | (1) 出席委員<br>梅木 陽子 城野 加代子 川原 憲朗<br>花田 砂恵子 児島 由美 田志 元子<br>漆谷 慎一 中島 美香 林 チヨ<br>(2) 欠席委員 高崎 正敬  |
| 所管課職員職氏名     | こども家庭部 部長 中村 雅美<br>子育て世代包括支援課 課長 羽田野 美奈<br>子育て世代包括支援課 保健指導係長 安部真理<br>子育て世代包括支援課 保健指導係 河野 里奈<br>子育て世代包括支援課 保健指導係 丸山 康子                       |
| 議 題<br>(内 容) | (1) 福津市食育推進の取り組みについて<br>(2) 食育に関する市民アンケートについて   |
| 公開・非公開<br>の別 | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開   |
| 非公開の理由       |   |
| 傍聴者の数        | なし  |
| 資料の名称        | 【資料1-1】第2次福津市食育推進計画 進捗状況<br>【資料1-2】「福津のめぐみで料理名人」の宗像経済新聞掲載記事<br>【資料2】食育に関する市民アンケート（素案）   |
| 会議録の作成方針     | <input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録<br><input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録<br><input type="checkbox"/> 要点記録<br>記録内容の確認方法 |
| その他の必要事項     |   |

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1. 開会の言葉

2. 部長あいさつ

中村部長よりあいさつ

3. 会長あいさつ

梅木会長よりあいさつ

（事務局安部）

本日は所用により高崎委員が欠席されております。

それでは次第4の議事に移りたいと思います。これからの進行は、梅木会長にお願いいたします。

4. 議事

（梅木会長）

それでは、議事に入ります。

議事（1）「食育推進の取り組みについて」事務局より説明をお願いします。

（事務局丸山）

資料1をご覧ください。

第2次福津市食育推進計画に沿って、各課の進捗状況をまとめています。

令和6年度の現状と課題及び令和7年度の取り組み案について、いくつか抜粋してご報告いたします。

【1 ページ】目標「食を通して地域を知る」取り組みとして、

○観光振興課では、令和6年度は地元店舗・生産者の協力を得て、5月17日～6月30日に鯛茶づけフェア、9月14日～11月10日に筑前玄海イカフェアを開催し、2月18日～3月30日に光の道開運スイーツフェアを開催予定です。次年度も各種食フェアを開催予定です。

また、「食に関する旅プログラム」として、農水産業分野において3テーマを開催しました。内容は、地元の大豆で味噌づくり、干物づくり、福津の冬野菜の収穫と獲れたてを味わう昼ご飯です。事業の狙いと参加者ニーズの調整が課題です。

○農林水産課では、JA青年部と協働で、上西郷小学校でスイカの苗植え及び収穫体験。勝浦小学校で、水稻の苗植え及び収穫体験を実施し、11月に地元漁業者と協力してカキ即売会を実施しました。次年度もこれらの取り組みを実施予定です。

○地域コミュニティ課からの報告では、郷づくり推進協議会において令和6年度の計画に基づき取り組みを行い、野菜や米作り体験、防災の要素を取り入れ

たビニール袋での調理体験などを実施しました。次年度も郷づくり推進協議会の令和7年度事業計画に基づき取り組まれる予定です。

○郷育推進課では、郷育カレッジの国際交流分野の講座の中で、海外の文化や家庭料理の話聞いて調理体験もする講座を2講座開催しました。令和6年度は台湾とルーマニアの食文化・料理の講座を実施しました。

○学校教育課では、津屋崎小学校と津屋崎中学校で、あんずの里市の生産者と交流会を行いました。また、各学校では給食時間に生産者についての放送を実施しています。これらの事業は、次年度も実施予定です。

○こども課では、食費等の物価高騰に直面し、家計に影響を受けている子育て世代に対し、地産地消による食育推進し、子どもたちの食の確保とともに、安心な子育てを応援するために、中学校修了前までの子どものいる子育て世帯へ指定直売所で利用できる「子育て応援券」1万円分を送付しました。執行率は96.8%で、昨年度より少し上回りました。ふれあい広場ふくま、あんずの里市、お魚センターうみがめの順で執行率が高かったです。米の高騰があった為、「お米が買えて良かった」との声もありましたが、実際は市指定のゴミ袋の購入が多かったようで、今後の課題です。なお、次年度の実施予定はありません。

○子育て世代包括支援課では、小学生の夏休みの自由選択課題のひとつとして、地元の食材を使って料理に挑戦する「福津のめぐみで料理名人」を募集し、今年で3年目です。応募者は、令和4年度918名、令和5年度1101名、令和6年度1303名と増加していて、保護者から「子どもと楽しく取り組む良い機会になっている。」と感想をいただきました。

11月16日～24日にイオンモール福津に318名の作品展示をし、6作品が市内飲食店、となりのグリル、餃子の山八、ネオラマート、marutani、OCEANS（オーシャンズ）、カナダキッチンによりお弁当化され、最終日に作品の応募者にイオンモール福津でお弁当の販売体験をしていただきました。また、この取り組みが宗像経済新聞に掲載されました。

課題は、学校によって夏休みの課題や提出方法に変更があるため、次年度は提出方法等を検討する予定です。なお、イオンモール福津での展示やお弁当販売が継続できるかどうかに関してはイオンモール福津、福津いいざいと協議予定です。

【2 ページ】目標「地元でとれたものをおいしく食べる」取り組みとして、各課事業や、学校給食、保育所給食で地元産の食材を使用しています。

○学校教育課では献立表に、地元産食材の使用が分かるように掲載し、給食時間の放送で、献立に関することや産地の紹介を行っています。

【3 ページ】目標「若い世代が健康や食への意識を持つ」取り組みとして

○いきいき健康課では、食育教室で、インスタント食品に含まれる塩分量等について伝え、生活習慣病予防の啓発をしました。

また、コミュニティフェスタで「骨と健康」について学べるコーナーを設置し、福津市食生活改善推進会の方に協力いただき、だし入りの味噌汁とだし無しの味噌汁の飲み比べを実施しました。次年度も食と健康に関する啓発活動を実施予定です。

○大和保育所では、保護者の試食を懇談会の時に2回提供し、保育所でのクッキングも2回に増やすことができました。3歳未満児の保護者にもだしの丁寧な取り方を伝えています。次年度も実施予定です。

(梅木会長)

様々な取り組みのあることがわかりましたが、3ページ目の若い世代の所に関して中島委員のご活動の中で感じていらっしゃるがありましたら教えてください。

(中島委員)

先日、子育て支援センターなかよしで離乳食の講話をする機会があり、職員の方から、なかよし利用者の方にも子どもに対する食の関心がすごく高い方もいるが、そうでない方もいらっしゃるとお聞きしました。保育園などが低年齢から預かってくれることもあり、なかよし利用者も0、1、2歳の保護者が多く、3歳からは園へ預け、保護者もお仕事が始まると忙しくなり、参加する機会も減ります。保護者の方が家庭で継続できて、簡単に栄養がたくさん摂れるような献立を紹介していますが、お母さん達の忙しさが垣間見られました。地域も含めて子どもを育てるといことがすごく大事だと感じました。

(梅木会長)

3歳未満の方へアクセスする機会があるが、それ以上の方にはアクセスが難しくなる現状を教えてくださいました。3歳以上児に対する取り組みも推進していただけたら良いと思います。

大和保育所でも3歳未満児の保護者にだしの取り方の料理教室を開催し、例年より参加者が増えたとのことでしたので、色々な場所で食育を推進していただきたいです。

(川原委員)

福津のめぐみで料理名人では、応募者が年々増加していますが、どのような周知をされているのでしょうか。

(事務局丸山)

福津市の各学校で全校児童へチラシを配布し、市ホームページと広報でお知らせしています。また、応募者が増加したのは、イオンモール福津で作品展示したことが大きいかと思われます。

(児島委員)

自分だけで料理をすることができる子どもの割合が、平成27年度の小学生が71.5%、中学生が67.3%で、小学生よりむしろ低くて、そんなことはないだ

ろうと思いました。そして令和2年は小学生が67.3%と前回より下がっていますが、その数字が気になりましたので、原因をどのように分析をされているか教えてください。

(事務局丸山)

令和2年はコロナ1年目に実施したアンケートで、学校での調理実習もできない年度だったので、小学生の数値が下がったことに影響があったかもしれないと思っています。来年度のアンケート結果を合わせて評価していきたいと思っています。

(林委員)

食品添加物が日本では海外に比べ許可されている種類が多く、健康被害が懸念されます。幼少期の保護者への教育として食品添加物について講演会の企画をしていただきたいと思います。

(梅木会長)

食品添加物や加工食品に関するご意見でしたが、幼少期のご家庭だけでなく成人期においても、忙しく時間もなく人手不足もあり加工食品等を利用する社会となっています。うまく利用しながら、どうやって健康的に過ごしていくことができるのかという根本的なことを学び続けなければいけないと感じました。

他にご意見ございませんか。ないようですので、続きの説明を事務局からお願いします。

(事務局丸山)

【4 ページ】目標「規則正しい生活リズムを整える」取り組みとして  
○各課それぞれ、生活リズムを整えて3食規則正しく食べることを伝えています。

【5 ページ】目標「健康長寿につながる健康的な食習慣を身につける」取り組みとして

○いきいき健康課では、出前講座や福津市食生活改善推進会の学習会で、適塩や生活習慣病予防について啓発し、市民向けの料理教室に活かしています。

また、8月に「ふくつ Come 噛む DAY!」イベントをイオンモール福津店・福岡女子大学と共催で実施し、よく噛んで食べることの大切さや、歯周病予防、オーラルフレイルについての啓発をしました。

なお、「適塩コーナー」を令和5年度はイオンモール福津店、あんずの里市の2店に設置していましたが、令和6年度は、さらにゆめmart津屋崎、マックスバリュ福間駅前店、ふれあい広場ふくまに設置を拡大し、食進会提供の「適塩レシピ」を定期的に掲示しています。

その他、節目歯科検診の未受診者へは保健指導時に歯科検診の必要性を説明し、受診勧奨を実施しています。次年度もこれらの取り組みを実施予定です。

○子育て世代包括支援課では、令和2年からコロナで中止していた乳幼児健診歯科集団講話を再開し、噛むことの大切さを伝えています。

○高齢者サービス課では、見守りを目的とした配食サービスを実施し、必要な栄養の摂取が難しい方へバランスの取れた食事を提供するサービスを紹介しています。

【6 ページ】目標「食への感謝の気持ちを育てる」取り組みとして

○大和保育所では、「命の会」で、園児の目の前で生きた魚をさばくことによって、魚の命を頂くことや野菜にも命があることを伝えています。

【7 ページ】目標「食文化を次世代につなげる」取り組みとして

○学校や大和保育所では、給食に郷土料理や季節の行事食を取り入れています。

○いきいき健康課では福津市食生活改善推進会とともに開催した適塩おせち料理教室に定員以上の申し込みがありました。

【8 ページ】目標「食に対する正しい知識を身につける」取り組みとして

○郷育推進課では、郷育カレッジの開講式のオープニングで、神興小5年生が「食品ロスプロジェクト」の活動を発表。郷育カレッジの中で、食品ロスを減らす活動紹介の講座を実施しました。

○いきいき健康課では、清涼飲料水や菓子類に含まれる砂糖の量の展示を、ふくとぴあのロビーに展示し周知活動を継続していましたが、12月からインスタント食品や冷凍食品等に含まれる食塩含有量についての展示物を作成し、ふくとぴあのロビーに展示し適塩の周知活動を実施しています。

○大和保育所では、保護者に対し食に関する知識等を給食だよりやホームページ、アプリ「こどもん」を使って発信しています。

【8 ページ下】目標「地域の自然環境をみんなで守る」取り組みとして

○うみがめ課では、廃棄物の減量化を目的にフードドライブを令和6年11月から開始しました。まだ食品の提供が少ないことが課題なので、次年度も周知を継続します。

【9 ページ】目標「行政・学校・ボランティア・関係団体の連携を強める」取り組みとして

○学校教育では、市が実施するイベントの、児童生徒への周知依頼があった場合、学校へ周知依頼を行います。

○いきいき健康課では、次年度福津市食生活改善推進会の養成セミナーを全8回開催し会員増加を図ります。

○児童センターでは、地域全体で子どもたちを見守る環境を充実させるため、食事の提供や学習支援、体験活動、地域住民との交流などを通して、子どもが安心して過ごせる居場所づくりを実施する団体へ補助金支援事業を実施しました。食育に関わる取り組みを実施する2団体に補助金交付をしました。

(漆谷委員)

うみがめ課のフードドライブに関して、市がしていることを知らなかったの  
で、入り口に看板等があればよいと思います。

(事務局丸山)

令和6年11月から、うみがめ課の窓口で食品等の受け入れをしています。  
周知方法として看板等置く案を伝えたいと思います。

(林委員)

こども食堂の補助金はどこの団体に交付していて、どのくらいの補助をして  
いるか教えてください。

(事務局丸山)

郷づくりカフェと野菜作り体験をしている団体で、半額の補助をしていると  
聞いています。

(中村部長)

こども食堂に特化しているわけではないですが、こども食堂も子どもの居場  
所のひとつなので、ご応募していただければ回数や条件はありますが対象とな  
ります。令和6年度に開始した補助金制度で、野菜作り体験をしている団体  
は、元々こども食堂をされている団体で、新たに野菜作りをするということで  
応募されたと聞いています。

(梅木会長)

郷育カレッジの開講式のオープニングで、神興小5年生が「食品ロスプロジ  
ェクト」の活動を発表されたとのことですが、どのような内容であったか教え  
てください。

(児島委員)

令和2年度から3年間、食育の県の重点課題研究を受けていて、その時に立  
ち上げて食品ロスの調査活動をしています。最終的に文化祭で保護者に発表  
し、その時にフードドライブも開催し、総合的な学習の時間としています。

(梅木会長)

授業の单元として位置づけられていて、実感を持って自分達の家庭の様子も  
調査しながら社会をよくしていくというよい取り組みだと思いました。

もうひとつ質問です。いきいき健康課では、次年度食進会の養成セミナーを  
実施するという事です。食育の活動に参加する方を募集するという事も大  
きな課題のひとつですが、食育を展開していく担い手の育成も一方では大事な  
課題かと思えます。食進会で会員を増やしていくための工夫がありましたら教  
えてください。

(城野委員)

次年度の養成セミナーは5月頃応募します。現在会員が47名います。料理  
教室に24名位しか参加がないので、まずは会員の料理教室の参加者を増やし

たいと思っています。養成セミナーに参加された方が全て会員になるわけではないので、できるだけ多くの方が会員になり料理洋室に参加してもらえたらと思っています。

(梅木会長)

まずは、活動者の活動を活性化したいというご意見でしたが、福岡女子大の学生ボランティアも同様な現状を抱えており、活動する学生が一部の学生で、そこをどうするかというのが課題です。2月に学生たちが学内向けのフェスタをしたいということで、下級生を呼んで、食育クイズや今までの活動の報告会をしたところでした。会員はいるが実際に活動する学生を増やすためにどうしたらよいかと思っていましたので、教えていただきありがとうございました。活動の呼びかけは大変かと思いますが、福津市は10年前に比べ若い世代の人口増加もしてきて、期待されている団体かと思っていますので、活動される方が増えることを願っています。

続きまして、議事(2)「食育に関する市民アンケートについて」事務局よりお願いします。

(事務局丸山)

資料2をご覧ください。

○目的

現在、平成29年3月に策定した第2次福津市食育推進計画に基づいて食育を推進し、様々な食育活動が市民にどの程度浸透しているかを検証し、第3次食育推進計画を策定するための基礎資料を得ることを目的にアンケートを実施する予定としています。

○調査設計

- ・一般市民、18歳～75歳の市民で住民基本台帳による抽出1,500人
- ・3～6歳までの幼児の保護者、住民基本台帳による抽出500人
- ・市内小学校5年生
- ・市内中学校2年生
- ・県立水産高校2年生、県立光陵高校2年生

調査方法は、WEBを利用したアンケート実施を予定しています。

○内容

アンケートは【一般】【小学生】【中学生】【高校生】【幼児の保護者】の5つに対象が分かれています。

アンケートの素案は、庁内関係課で構成したプロジェクト会議、福岡女子大の梅木陽子先生、令和2年のアンケートの際に、梅木先生とご一緒に、「小中高生における一人で料理を作れるか否かの認識の違いによる食生活習慣及び食育への意識の差異の検証」をしていただいた西南女学院大学の永原真奈見先生からご意見いただき検討して、事務局が作成したものになります。



では、アンケート設問の内容を説明いたします。

資料2の【一般】のアンケートと変更点の表をご覧ください。令和2年度と変更した箇所の説明をします。

○問3-2、「いつもの朝食で食べているものを教えてください。」ですが、朝食を食べているかいないかのみでなく、どのようなものを食べているか踏みこんだ質問を設定しています。

○問6、令和2年度は地域やコミュニティでの共食の機会があれば参加したいかを問う内容でしたが、令和7年度は問14で新規にこども食堂の設問を追加していますので、そこでまとめています。

○問8、主食、主菜の説明欄に、問3-2に合わせてコーンフレーク、魚介類を追加しています。

○問9、令和2年度は、「あなたは、毎日野菜を食べることを心がけていますか。」、回答は、①毎食心がけている、②1日1食は心がけている、③心がけてない、としていましたが、どの位の量を摂取しているか目安を把握したいため、令和7年度は、「毎日野菜を何皿（品）程度食べていますか。」という内容へ変更しています。

○問11-1、減塩に気をつけていることを具体的に知る項目を新規追加しました。

○問12、「あなたの世帯では、過去1年間に、家族が必要とする食料を経済的な理由で購入できないことがありましたか」

○問13、「フードバンクがあれば利用したいと思いますか」

○問14、「こども食堂のような無料または低価格で食事をとることができる場所や地域での食事会等の機会があれば利用したいですか」

問12、13、14は、国に合わせて追加し、福津市の現状を把握したいと思っています。

○問19、「あなたは災害時に備えて飲料水や食品を備蓄していますか」は、災害に備えた家庭での取り組みが必要と思われるため新規追加しています。

○令和2年度の間17-1、「あなたが、食品を購入する際に食品表示で気をつけていることは何ですか。」という項目は、毎回90%前後の方が消費（賞味）期限と回答、また、70%前後の方が産地・生産者と回答していて、変化なく達成できていると判断し削除しました。

○問22、「あなたは、福津市でとれた農産物や海産物をどこで購入していますか。」は、農林水産課より希望があり追加しました。

○令和2年度の間20、「あなたの家庭では、行事食を1年間に何回くらい行いますか。」は、指標15の行事食を5回以上行っている家庭の割合を見る設問でした。しかし、第1次計画時より家庭や地域の状況が変わってきているこ

とにより、家庭で5回以上という指標設定が厳しすぎることで、行事食は学校や地域でも行っているため、家庭に限らなくてもよいとの判断で削除しました。しかし、指標15にある項目で「行事食を5回以上行っている家庭の割合」とありますので、評価できない項目となります。

○問24、「あなたの性別はどちらですか。」に関して、令和2年度は回答が男性か女性の2択でしたが、令和7年度は、どちらでもない、答えたくないを追加しました。

○問25、「あなたの年齢は。」は、年代で選ぶ方法へ変更しています。

○問27、「あなたの家族構成は。」は、答え方を簡潔にしました。

○問29、「あなたの暮らし向きはいかがですか。」

○問30、「あなたは日々の生活に時間的なゆとりを感じますか。」

○問31、「あなたは自分の健康状態について、どのようにお感じですか。」

問29、30、31は、国に合わせて追加し、市の現状を把握したいと思います。

○問32、33の自由記載は、「日々の生活の中で食育に関することで行っていること」と、「食育の推進に関するご意見、ご要望」の2つに分けました。

以上が、「一般」の令和2年度と令和7年度の設定の変更点となります。

(梅木会長)

只今の件に関してご意見ございましたらお願いします。

(漆谷委員)

問24の性別のところ、1番が男性、2番が女性になっているが、番号でなく○などで表示していただく方がよいと思います。

(事務局丸山)

WEBアンケートになるため、チェックボックスになるかと思っています。

(梅木会長)

では、続けて小学生のアンケートについて事務局より説明をお願いします。

(事務局丸山)

では、「小学生」の変更点について説明します。小学生の変更点をまとめた表をご覧ください。

○問1-2、一般と同じく朝食の内容を具体的に聞く問いを新規追加しました。

○問5、「家で飲むスープやみそ汁の味つけは、給食のスープやみそ汁とくらべどうですか。」は、適塩は子どもの頃から必要なので新規追加しました。

○問7、調理技術の指標を基に、どの程度まで習得しているのかを詳しく知るため新規追加しました。

○問 10、フードバンクと、問 11、こども食堂の問は一般同様に新規追加しました。

○問 18、「あなたの性別はどちらですか。」に、一般同様、答え方に、どちらでもない、答えたくないを追加しました。

○問 20、自由記載では具体的に回答できるように質問内容に変更しました。

「中学生」「高校生」の変更点について説明します。小学生、一般の変更点を参考に同様に変更しています。

「幼児の保護者」の変更点について説明します。一般の変更点を参考に同様に変更しています。

○問 7、「お子さんの食生活に関して、何か心配ごとはありますか」は、幼児に多いと思われる心配ごとを追加しました。

○問 15、16、野菜摂取や減塩に関しては新規追加し、保護者に関する食についても問うことにしました。

以上がアンケートの変更点になります。

(梅木会長)

小学生、中学生、高校生、幼児の保護者のアンケートの変更点に説明がありましたが、まず小学生に関するご質問ありますでしょうか。

(児島委員)

問 1-2 の朝食でいつも食べているのを教えてくださいという質問は、バランス良く食べているか知りたいという意図で聞かれている質問ですか。子どもたちは、いつも違う等言いそうだと思います。全て○をつけてよいということですね。

(事務局丸山)

そうです。

(梅木会長)

学校に来る日の朝よく食べているものとして聞くのが習慣的なものとしては良いかと思います。わからないということであれば、今日はどうだったかということで答えていただければよいと思います。

(児島委員)

8 番の水や茶というの也要りますか。飲んでいることを知りたいということでしょうか。ご検討ください。

問 7 の料理でできることがありますかという項目は、多分、学習指導要領を基に考えられたかと思いますが、小学校では炒めると茹でるしか学習しません。煮るや蒸すは学習しません。また何を炒めるのか、揚げるのか等で答え方が全く違いますので回答しづらそうです。学校では小松菜やじゃがいも、卵を

茹でることを学習する程度なので、これを調べてどんなことを把握したいのかが疑問です。学校では、ご飯を炊くこと、だしをとること、味噌汁は学習に出てきます。例えば米が炊ける、味噌汁が作れる、カレーライス等の簡単な料理ができるとかの方が目的には適っているのではないかと思います。専門家の先生にもご指導受けているとのことですので意味があるのかもしれませんが、項目については検討していただいた方が現場としては混乱しなくてよいのではないかと思います。

(梅木会長)

例えば調理例を示して想像しやすいような工夫ができればと思います。それから、例年どうされていたか教えていただきたいのですが、アンケートを小学生にする際に、こういう質問があった場合にはこう答えてくださいみたいなご指示がされているのでしょうか。そのような解説文書があるとよいのかと思いました。

(児島委員)

アンケートは用紙ではなくフォームですか。

(事務局丸山)

フォームです。

(児島委員)

学校は全てフォームで大丈夫です。

(中島委員)

問7で気になりまして、福津市は各学校でお弁当の日があるので、それに関連して項目を考えると子どもたちも答えやすいのではないのでしょうか。例えば、低学年なら1品作りましょうとか、高学年なら全品作りましょうなど、栄養士の先生の説明もあるので、子どもたちもより具体的に関連付けられるのではないかと思います。やったことのない子がピーラーって何だろうとなりますし。生きる力を聞くという点ではそういうのもあって良いのではないかと思います。

(林委員)

問1-2でいつもの朝食で食べているものを教えてくださいとありますが、具沢山の味噌汁はとってほしいものではありませんが入っていないので、ぜひ入れて欲しいです。

(梅木会長)

カテゴリが、食品バランスガイドの料理区分に基づいていますので、調理例のところ器具沢山の味噌汁であれば副菜のところに入れば答えやすいかと思います。

(林委員)

メニューとして味噌汁をあげた方が良いかと思いますが。味噌汁食べていると答えた方は、家で味噌汁をしっかり作って食べているのだらうと思いますし。

(児島委員)

私も賛成です。栄養補助食品は朝から食べる子は絶対数としては少ないからご飯、味噌汁を推進した方がよいかと思います。

(梅木会長)

料理で何ができるかと、朝食の区分のカテゴリに関しては、参考文献を基に研究ベースで組み立てているところではあります。市の食育計画をどうしていくかというところでは、各事業との兼ね合いがありますのでどのように問うかに関しては検討が必要でしょう。検討する時間は大丈夫でしょうか。

(事務局安部)

設問内容について相談していきたいと思います。

(児島委員)

市の校長会の時に、食育アンケートの実施について協力依頼が例年あります。今日もその場のひとつだと思いますが、アンケートをつくる時に提案の前に一度そのアンケートを見せていただいて、内容を確認させていただいた方がいいと思います。

4月から5月の校長会で説明をしていただいています。もうその時は確定版なので、その一步前の段階で、お話を頂けたらと思います。

また、付け加えですが、主菜のところもとても気になっていて、肉を食べている子はすごく多いと思いますが、魚を食べている子はすごく少ないですね。栄養食品群的にそこを一緒にひとつくりになっていますが、何を調べたいのか、どんな子どもになってほしいのかという目的があると聞き方も変わってくると思うので、そこを1回ご検討頂けたらと思います。

(梅木会長)

ありがとうございます。本年度の取り組みのところでも、大和保育所の魚をさばくという食育をされたという報告もされていたので、本市がなさっている食育がどう子どもたちに反映されているかをアンケート結果から見取することも視点として大事だと分かりました。

(漆谷委員)

同じ箇所ですが、確かに栄養学に基づいて区分されていると思いますが、小学生には少し難しいと思います。例えば5番の菓子は、果物なので、果物でいいかと思います。100%果汁は、果物よりも飲物のほうに入るのかと思います。6番の菓子類と5番の菓子が分かりづらいし、9番の栄養補助食品もマニュアルみたいなのがあって例えば、カロリーメイトみたいなものがあるよねと言った方が分かりやすいです。また、飲み物が非常に分かりづらくて迷うと思います。子どもには難しいのでざっくり分けていいのかと思います。

(梅木会長)

ご意見ありがとうございました。

このあたりが正確にはかりたい箇所ではありましたが、そのことによって、難しく回答が得られないというところだと本末転倒です。1番は理解して納得して答えていただいて、それが計画に役立つというところだと思いますので、その視点に沿ってできるだけここは検討していきたいと思います。

校長会の早い時期にということでしたが、その辺りはいかがでしょうか。

(羽田野課長)

4月の校長会は異動もありお忙しい時期かと思っておりますので控えたいと思っております。個別に児島校長にご意見伺えたらと思っておりますがよろしいでしょうか。

(児島委員)

後で、個別でお聞きします。

(梅木会長)

ほかにご意見はございませんでしょうか。

ないようですので、アンケートの変更点に関する審議は以上とさせていただきます。

次第5.その他の項目なにかございますか。特にないようですので、議事を終了いたしまして、事務局に、お返しいたします。

(事務局安部)

本会議の委員の任期は2年間のため、委員の皆様におかれましては、現在の任期が令和7年3月末までとなっております。活発なご意見をたくさんいただき、感謝申し上げます。ありがとうございました。

各団体より来ていただいている委員につきましては、今後所属長の方へ委員推薦のご依頼を差し上げる予定です。

来年度の本会議の開催は、5～6月頃と2～3月頃に予定しております。

どうぞよろしく申し上げます。

本日はお忙しい中、皆様ありがとうございました。